

2022年6月6日、月1回のリハビリテーション科全体ミーティングに初めて外部の講師をお招きし、勉強会を行いました。今回は併設するすみれ苑リハビリテーション科スタッフも参加しました。

講師は神戸リハビリテーション福祉専門学校の嘉戸副校長で、内容は深部腱反射や病的反射の機序や検査方法の注意点、また反射検査の機序を踏まえた臨床応用についてご教授いただきました。

参加者からは、「今まで患者様にストレッチングを行った際、十分な効果が得られず悩んでいました。今回の勉強会で脊髄反射を利用したストレッチングを学び、全てではないものの悩みが解決しました。明日の治療で実践するのが楽しみです。」、「学生の頃は十分に理解できなかった内容でしたが、今は理解できました。」などの感想があり、大変有意義な勉強会であったことが伺えました。

当院では脊椎疾患の患者様が多く、脊髄の評価や結果の理解が求められます。そのため、来月以降も開催される嘉戸副校長の勉強会で学び続けます。

今後も、リハビリテーション科は患者様に提供するリハビリテーションの質を向上するために様々な取り組みを行ってまいります。

(文責 藤原聰、浪越翔太)

【勉強会の風景】



